

平成27年度援護関係予算案の主要事項

【26年度予算】	【27年度予算案】
32,555百万円	→ 30,335百万円
※社会・援護局（援護）計上分	20,590百万円
※社会・援護局（社会）計上分	9,745百万円

戦後70周年関連における取組（☆の事項）

2,388百万円

1 援護年金 17,399百万円 → 14,576百万円

(受給人員 9,524人 → 8,351人)

2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給

☆ 支給事務経費（支給対象件数 123万件） 477百万円

☆3 戦没者遺骨収集帰還の促進 1,498百万円 → 1,649百万円

(1) 硫黄島遺骨収集帰還事業 1,061百万円 → 1,060百万円

(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集帰還事業 437百万円 → 588百万円

ア 情報収集 235百万円 → 361百万円

イ 遺骨収集帰還 202百万円 → 227百万円

4 戦没者慰霊事業等 721百万円 → 798百万円

(1) 慰霊巡拝等 303百万円 → 279百万円

ア 慰霊巡拝 102百万円 → 105百万円

イ 慰霊碑の補修等 123百万円 → 98百万円

ウ 遺骨・遺留品伝達 16百万円 → 16百万円

エ 戦没者遺骨に係るDNA鑑定 62百万円 → 60百万円

裏面に続く

(2) 戦没者遺児による慰霊友好親善事業等	283百万円 →	369百万円
ア 慰霊友好親善事業	272百万円 →	351百万円
☆ 洋上慰霊の実施 (洋上慰霊参加者 400人)		<u>188百万円</u>

イ 民間建立慰霊碑等整理事業	11百万円 →	17百万円
----------------	---------	-------

(3) 全国戦没者追悼式挙行経費	135百万円 →	150百万円
☆ 国費負担参列遺族の増員等		<u>15百万円</u>

 国費負担参列遺族等の人数を各都道府県5名増員 (うち、1名は18歳未満の遺族)

5 昭和館・しょうけい館事業	<u>622百万円 →</u>	<u>678百万円</u>
----------------	-----------------	---------------

☆ 特別企画展の開催、展示内容の充実		<u>59百万円</u>
--------------------	--	--------------

6 中国残留邦人等の援護等	<u>11,295百万円 →</u>	<u>11,205百万円</u>
---------------	--------------------	------------------

(1) 中国残留邦人等に対する支援等	11,121百万円 →	11,058百万円
ア 支援給付の実施等	11,017百万円 →	10,856百万円
イ 配偶者支援金の支給	104百万円 →	187百万円
ウ 中国残留邦人等実態調査の実施	0 →	16百万円

 ※上記のほか、職業安定局において生活支援と連動した職業相談に係る経費22百万円を計上

(2) 戦没者等援護関係資料の整備	173百万円 →	146百万円
-------------------	----------	--------

※ 百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。